

LAND_Kit

3D設計CAD V-nasClairシリーズ

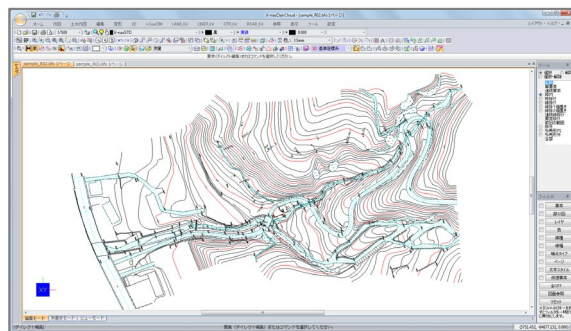
LAND_Kitでは等高線や道路線、あるいは構造物等に標高(Z値)を与えることで簡単に3次元地形データにすることができます。作成した地形データからは自動的にTINモデルが生成できますので、そのまま3次元地形モデルデータとして利用できます。また、国土地理院の数値地図データをインポートしてそのまま3次元地形モデルに変換して利用することも可能です。作成された3次元地形モデルデータはLINER_Kitや、ROAD_Kit等で必要となる現況地形モデルデータとして活用できます。

製品特長

1 | 3次元地形図を簡単に作成、モデル化！

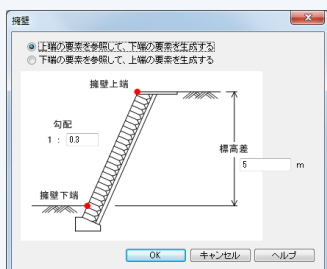
▶ 標高値の入力機能

2次元地形図に対して標高値を付加できます。等高線（自動・指定）、路線（現況道路・河川・水路）、構造物（宅地・田畑・建物・擁壁・崖地など）の標高入力ができます。付加した標高を断面表示することも可能です。

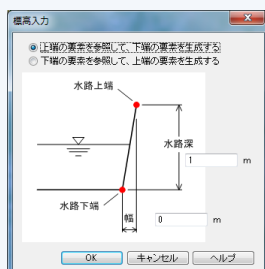


2次元地形図に対し標高を付加

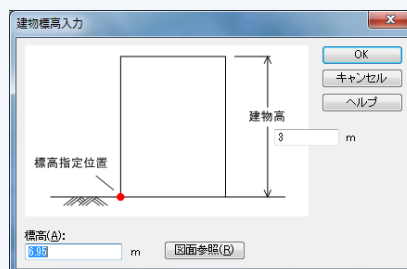
■ 標高入力コマンドダイアログ



擁壁の標高入力画面

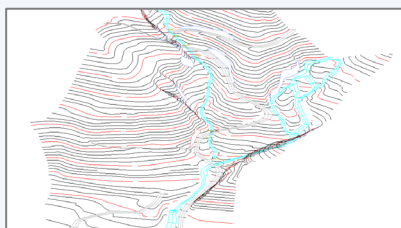


水路の標高入力画面

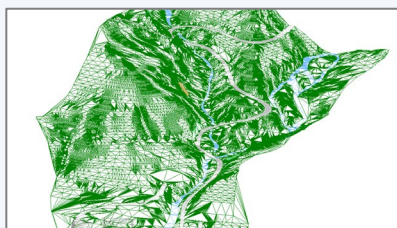


建物の標高入力画面

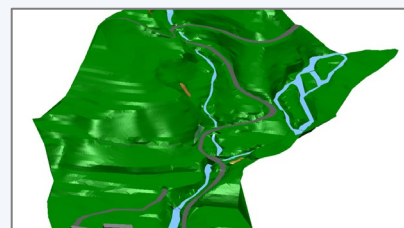
■ 3次元地形図から地形モデルを作成した例



地形表示



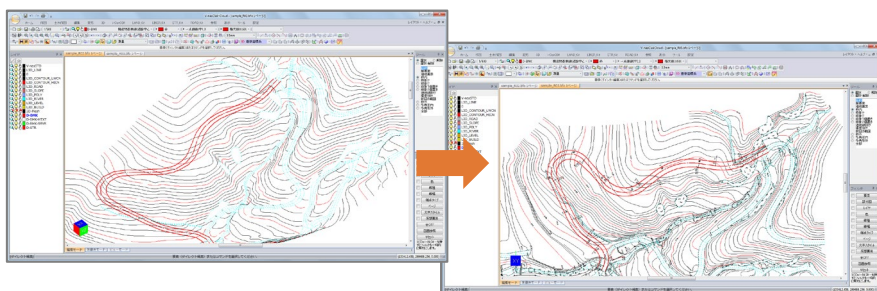
ポリゴン表示



モデル表示

▶ 現況地形の取得機能

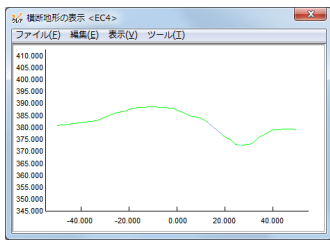
LINER_Kit 他 で作成した中心線と3次元地形図から、中心線上の現況縦横断面地形を取得することができます。また、地形・計画の斜断面形状・断面線などの任意要素上の地形の取得。取得した断面を図面上にコピー＆ペーストすることも可能です。



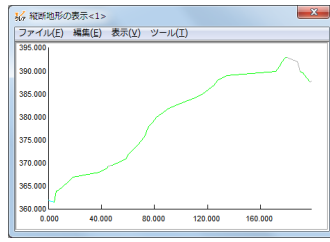
LINER_Kitで中心線を設定後、LAND_Kitで中心線から縦横断面地形を自動取得

▶ 道路中心線の縦横断地形の表示

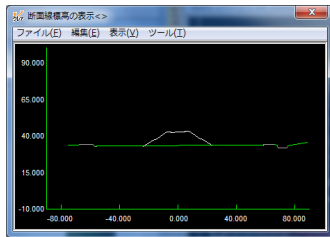
LINER_Kit 他で作成した中心線と3次元地形図から、中心線上の現況縦横断地形を取得することができます。



横断面の地形を表示



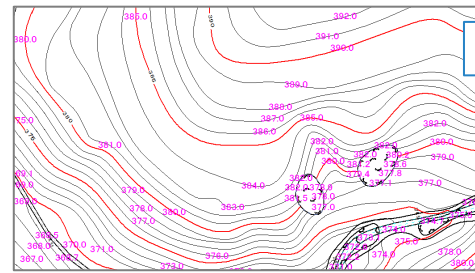
縦断面の地形を表示



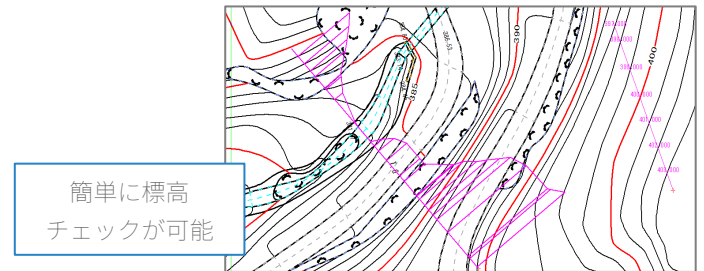
断面線標高の表示

▶ 標高チェック

図面上でZ座標値の表示や、断面形状と断面標高の表示が可能です。標高のチェックも簡単に行えます。



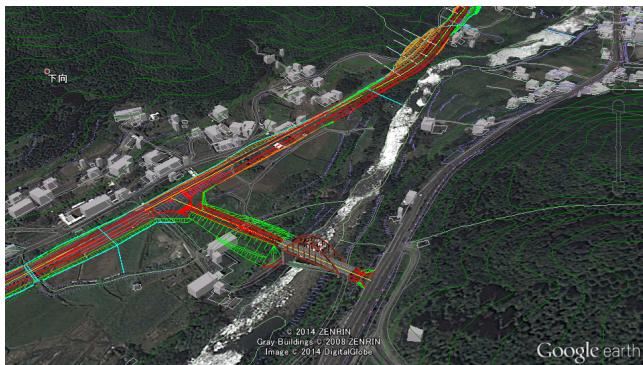
Z座標値の表示



簡単に標高
チェックが可能

▶ KMLデータへエクスポート

KML (Google Earth *1 に取り込み可能なモデルデータ) 形式で出力し、Google Earth *1 上で表示させることが可能です。

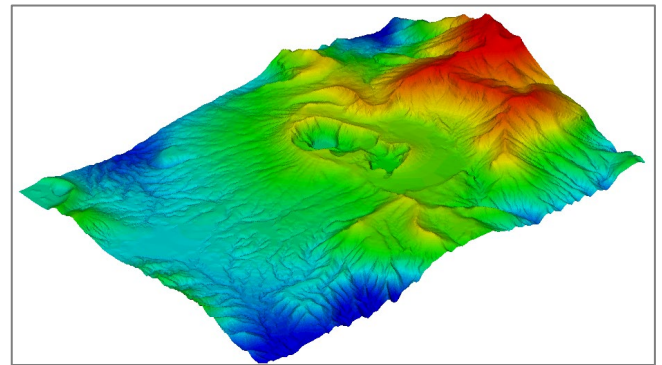


KMLデータの出力

*1: Google および Google Earthは、Google Inc.の商標または商標登録です。

▶ 国土地理院のメッシュデータのインポート

国土基盤地図情報 (国土地理院) メッシュデータの入力が可能です。Shapeファイル (GISで主に利用) 入出力にも対応しております。



国土地理院のメッシュデータの入力 *2

*2: この地図は、国土地理院の数値地図10mメッシュ(火山標高)阿蘇山を使用したものです。

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11 64bit
※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

CPU

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

記憶装置

10GB以上の空き容量 SSDを推奨

ディスプレイ

1920×1080以上が表示可能なもの

その他

64bit版のみ対応